

2022年1月14日

## 読売テレビの新たな経営指針を策定 「Added Value～ytv付加価値の最大化～」

読売テレビは1月13日(木)、新たな経営指針「Added Value～ytv付加価値の最大化～」を策定し、全社説明会を開催しました。読売テレビで働くすべての社員、スタッフを対象とした説明会は、コロナ対策のため最小限でのリアル参加とオンライン視聴を併用して行われました。

# ytv 指針 Added Value ytv付加価値の最大化

この経営指針は、これからの読売テレビを創っていく若手中堅社員210人(入社2年目～16年目)を対象に行ったヒアリングをもとに策定されました。現在取り組んでいる「人事制度改革」「新しい編成方針」「DX(デジタルトランスフォーメーション)」「SDGs」「新しい営業・ビジネス」「ファンマーケティング」の6つの改革をより一層推し進めていくため、そして読売テレビのすべての業務に関して「付加価値の最大化」を目指す全社共通の羅針盤として示されました。

また全社ヒアリングで社員より提起された問題点を解消し、「付加価値の最大化」を実現するために必要な施策として、新たに「見える化宣言」「チャレンジ宣言」を打ち出しました。

## 人事制度改革

ジョブローテ・評価制度  
納得して働ける制度

## 新しい編成方針

地上波に留まらない  
総合コンテンツ施策

## DX

デジタルコンテンツ  
リーチ力

ytv 指針  
**Added Value**

ytv付加価値の最大化

## SDGs

社会との向き合い  
働きやすい職場環境

## 新しい営業・ビジネス

データマーケティング  
価値の創造

## ファンマーケティング

ytvブランド  
ファン作り

### ◆「見える化宣言」

全社的な情報共有を進めるため、社長から「Added Value 通信」という形で経営指針について定期的に社内発信します。また、常勤役員会での議論の内容の開示や、全社員の自己紹介ページ「ytv“タレント”ブック」の公開で、タテヨコ、部局を超えたコミュニケーションを促進します。セクショナリズムに陥りがちな社内関係を円滑にし、社内の結束力を高め、自由な発想の創出を目指します。さらに社外からの「見える化」も同時に進めることで、企業としての透明性を高め、より信頼されるテレビ局を目指します。

### ◆「チャレンジ宣言」

挑戦を応援する社風、失敗もできる社風を醸成します。テレビ局として新しい時代にそぐわない固定観念から脱却し、恐れず、新たな魅力あるテレビ局への進化を目指す施策です。局毎の挑戦を全社的に共有することを目的とした『チャレンジプラン』の導入に加え、社員の挑戦を募り、応援し、進捗・結果をフィードバックするための『チャレンジ登録』を制度化します。

全社説明会では大橋善光社長が登壇し、「経済用語の付加価値は、金銭換算できるものだが、お金の換算できないもの、短期的には効果がはっきりしないものも含めたい。付加価値は、様々な現場で、様々な形で、知恵や工夫や誠実な姿勢から生まれてくるもの。手間暇をかけ、真心を込めて、『面白く』『安心』で『役に立つ』番組を届け、視聴者の安心や活力の基盤を支える、誰もがみんな知っており、誰でも好きになれる局、夢を抱いた局を目指そう」と述べました。



読売テレビでは、新しい経営指針「Added Value～ytv 付加価値の最大化～」のもと、激変するテレビ業界を取り巻く環境変化に挑戦し続け、視聴者に選ばれ続けるテレビ局を目指してまいります。